

# 農産FAX情報 第4号

令和8年7月1日

ゆとりみらい21推進協議会 指導部会 幕別町忠類地区

## 1 秋まき小麦

### (1) アブラムシ防除

○一部生産ほ場で発生が確認されています。寄生穂率が45%を超えると減収するため、発生状況を見て薬剤防除を実施してください(表1)。

表1 アブラムシに登録がある薬剤例

薬剤名	系統名	希釈倍率	使用回数	使用時期	RAC番号
スミチオン乳剤	有機リン	1,000倍	1	7日前まで	1B
モスピランSL液剤	ネオニコチノイド*	4,000倍	2	7日前まで	4A

### (2) ムギクロハモグリバエ防除

○一部ほ場で発生が確認されています。幼虫は葉先から中央部へ向って葉肉内を幅広くもぐり、約2週間に渡り袋状の食害痕を形成します。発生状況を見て薬剤防除を実施し、被害が見られたら関係機関へご相談ください(表2)。

表2 ムギクロハモグリバエに登録がある薬剤例

薬剤名	系統名	希釈倍率	使用回数	使用時期	RAC番号
エルサン乳剤	有機リン	1,000倍	4	7日前まで	1B

## 2 てんさい

### (1) ヨトウガの防除

○発生状況を確認し、若齢幼虫のうちに防除を行いきましょう(表3)。

表3 ヨトウガに登録がある薬剤例

薬剤名	系統名	希釈倍率	使用回数	使用時期	RAC番号
マッチ乳剤	IGR	3,000倍	2	14日前まで	15
モスピランSL液剤	ネオニコチノイド*	4,000倍	3	3日前まで	4A

## (2) 褐斑病の防除

○高温多湿条件で発生が増加します。天気予報を注視し、予防防除を行ってください(表4)。

表4 褐斑病の防除薬剤例

薬剤名	系統名	希釈倍率	使用回数	使用時期	RAC番号
グリーンダイセンM水和剤	ジチカーバメイト	400~600倍	5	21日前まで	M3
フセキフロアブル	ピリダジン ピリダクロメシル	2,000 ~3,000倍	3	7日前まで	53

## 3 ばれいしょ

### (1) 疫病の防除

○疫病は着蕾期~開花始期に茎葉に発生し始め、多湿条件で急速にまん延します。

- ・降雨などにより、ほ場に入れないことが予想される場合は、ダブルインターバル(14日間の防除間隔)効果のある薬剤を使用しましょう(表5)。

表5 疫病・夏疫病の防除例

薬剤名	該当病害名		希釈倍率(倍)		使用回数 (以内)	使用時期 (収穫前)	RAC番号
	疫病	夏疫病	通常	ダブル インターバル			
グリーンダイセンM水和剤	○	○	400~600	-	10	7日前まで	M3
フロンサイドSC	○	○※	2,000	1,500	4	7日前まで	29
ホイス'ンドラフロアブル	○	○	1,500	-	4	14日前まで	27, 11
プロポーズ顆粒水和剤	○	○※	1,000	750	5	7日前まで	40, M5
リライアブルフロアブル	○		800~1,000	800	3	7日前まで	43, 14
レーバスフロアブル	○		1,500	1,500	2	7日前まで	40

※ダブルインターバルでは夏疫病に登録がない。

### (2) 軟腐病の防除

○高温多湿条件で発生が多くなります。また、倒伏等により茎葉が傷つくと発生が助長されるため、気象・茎葉の生育状況に合わせて防除を行きましょう。

○ストレプトマイシン剤(アグレプト液剤など)は耐性菌が出現している地域があります。

**こまめな水分補給で熱中症対策を！**

**農薬のドリフトに注意！！**

**安全確認で農作業事故防止！**